

一九九〇年十一月

平城宮発掘調査出土木簡概報(三)

——長屋王家木簡二——

奈良国立文化財研究所



天半甘 家景味子 物集國書 志紀思才
 瘳瘳 魁學 志紀思才 尾張清
 表景美山 上師魏志 志紀思才 塚田志也

水景美山 志紀思才
 志紀思才 志紀思才

山邊境內之人半一年漸一人至

外景美山 瘳瘳 志紀思才

炭燒燬打詩不果不果

任志考一書集人信集不果
四月十二日

中乳前更一集七今五

中乳前更一集七今五

新界人二二林步

十月十日

芝山 多生都九烈

...

...

...

示祀
犬
祭
祭
祀
祀

示祀
犬
祭
祭
祀
祀

示祀
犬
祭
祭
祀
祀

示祀
犬
祭
祭
祀
祀

示祀
犬
祭
祭
祀
祀

示祀
犬
祭
祭
祀
祀

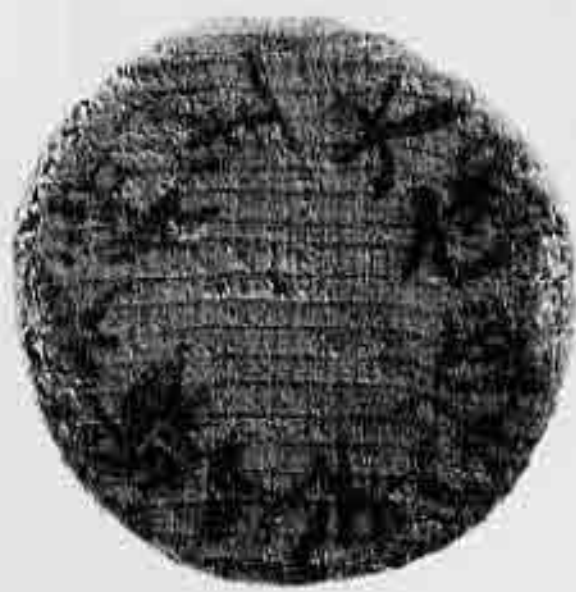
示祀
犬
祭
祭
祀
祀

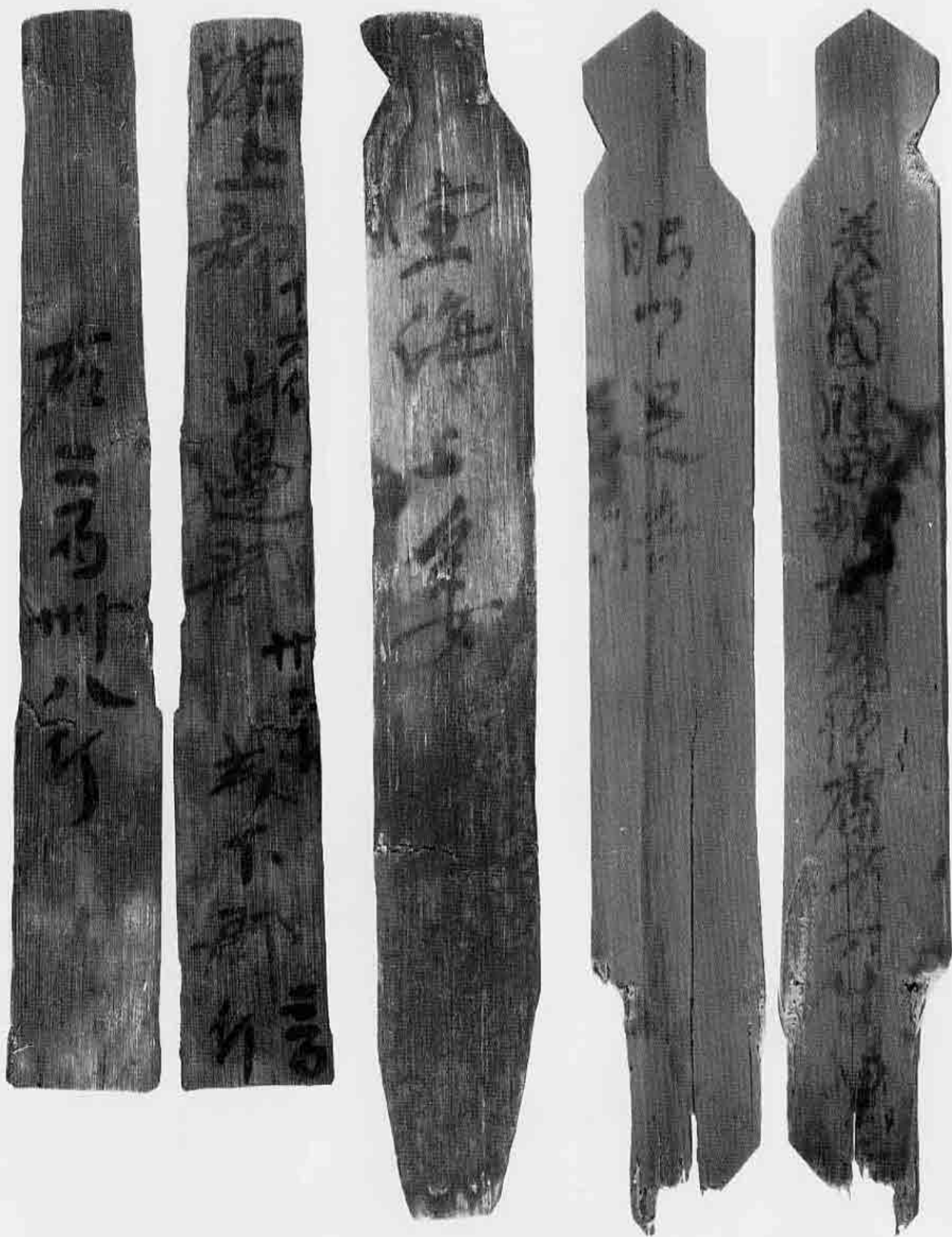
林國遠致謝書
清同治九年
十月廿五日
贈

泉坊進上霞
光子一古
光緒九年五月廿五日
東京新丁

書以
光緒九年
十月廿五日
贈

送法
國書
光緒九年
十月廿五日
贈





この概報には、さきに公刊した『平城宮発掘調査出土木簡概報』(十二)(一九九〇年五月)以後、平城京跡から出土した木簡の一部を収録する。

一九八六年九月に開始したデパート建設に先立つ調査は、八九年九月に終了した。平城京左京三条二坊の一・二・七・八坪及び二条二坊五坪を対象にした三万㎡をこえる発掘において、大量の木簡が出土し現在も整理が続いている。その成果の一部は『木簡概報』(二十)～(二十二)に掲載したが、本号は(二十一)に続き「長屋王家木簡」と称している木簡を中心に収録する。

一、木簡出土の地点と状況

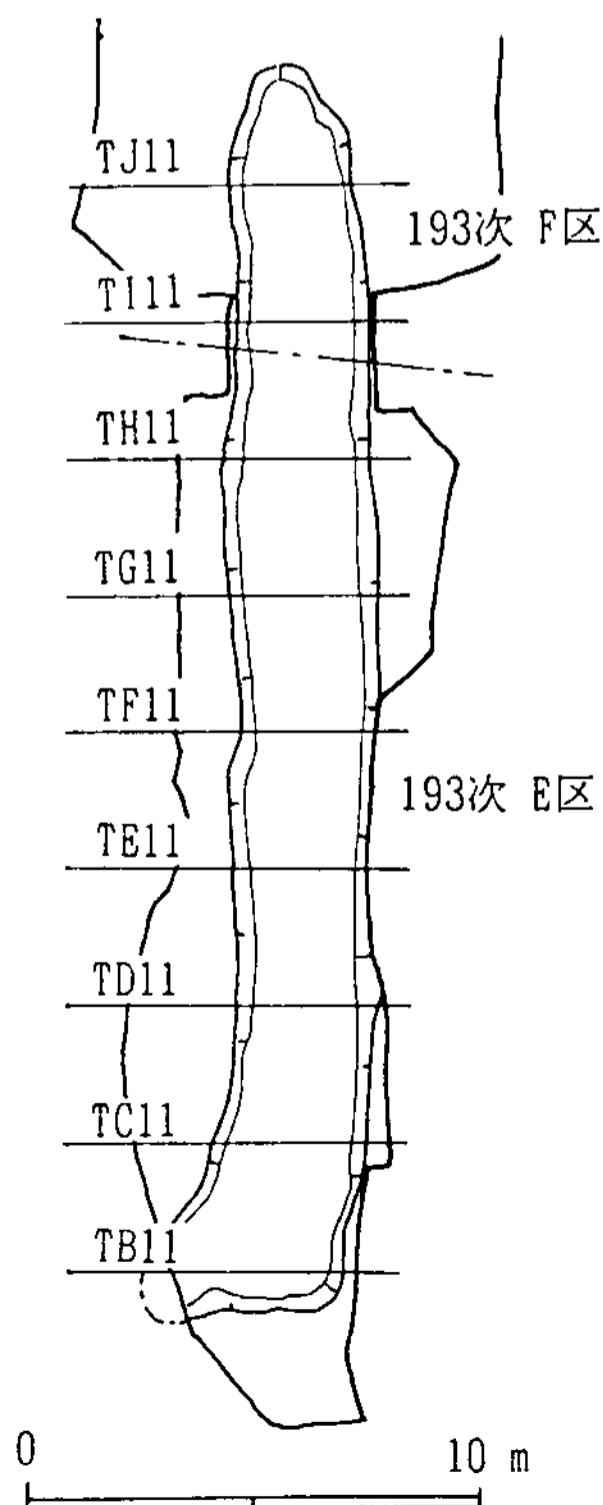
一連の調査で木簡が出土した遺構と点数、及び既発表分との関係をまとめたのが巻末の「木簡出土遺構一覧」である。合計二六の遺構から総数で十萬点近くになるのではないかと予想される木簡が出土しており、整理が終わったものから順次、公表している。

本号が対象としたのは「長屋王家木簡」が出土したSD四七五〇、二条大路北側溝SD五二四〇、およびSD四六九九・五〇二一の東二坊坊間路西側溝である。以下これらの遺構を簡単に紹介する。

SD四七五〇

八坪東南隅に位置する南北溝でいわゆる「長屋王家木簡」が出土した遺構である。一九八八年八月九月に行われた第一九三次E区調査の成果については既に『木簡概報』(二十一)で述べた。

SD4750平面図



第一九三次E区調査は溝の南端を明らかにしたものの、発掘区の北になお連続することが判明したため、北端の確認と溝の完掘をめざして、一九八九年五月に第一九三次F区調査を実施した。

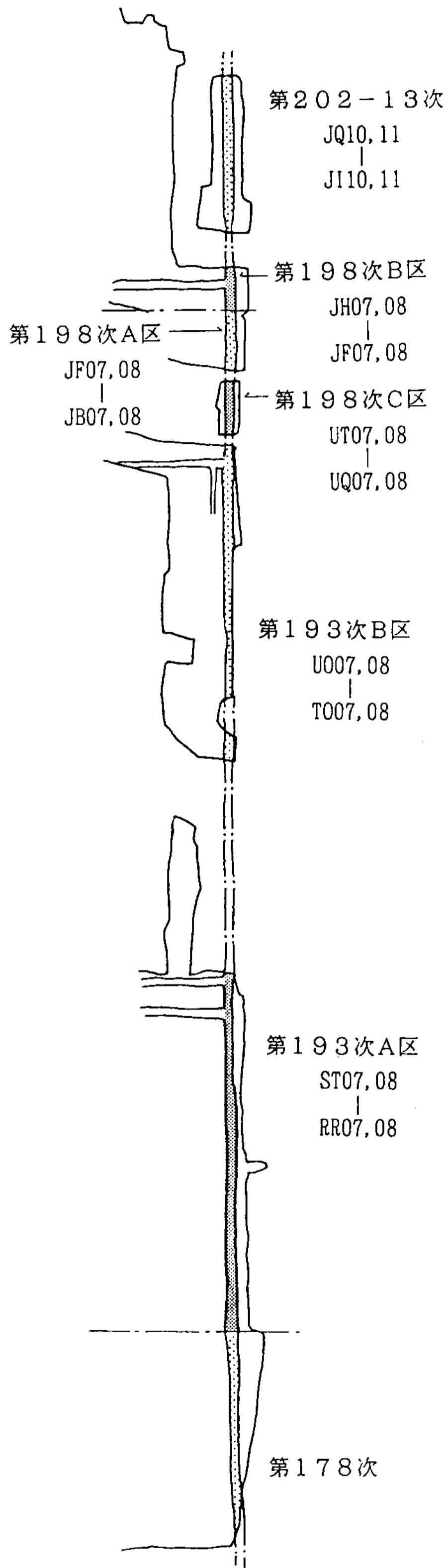
その結果、調査区南端から六mで溝の北端を検出し、溝は全体で幅三・四m、深さ〇・八～〇・九m、全長二七・三mと確定した。溝の北端は丸くおさまり、やや強い傾斜で立ち上がる。他の溝に連続しないことは、南半と同様である。

木簡の内容も、南半と大きく異なるものではなく、年紀も和銅四～霊龜二年の間におさまっている。

本号は、第一九三次E区とF区の両調査を対象とし、『木簡概報』(二十一)以後に整理の済んだものを収録した。ただし、SD四七五〇の「長屋王家木簡」は完結していない。

SD四六九九・五〇二一

発掘区の東辺を南北に走る溝で、東二坊坊間路の西側溝にあたる。遺



構番号は、二条大路北側溝SD五二四〇と合流する地点の南と北で二分し、南がSD四六九九、北がSD五〇二一である。この溝の発掘次数を南から順にあげると、第一七八・一九三A・一九三B・一九八C・一九八A・一九八B・二〇二一三次の各調査で、総延長約二三〇mに及ぶ。溝の規模は、発掘した場所によって若干の違いはあるもの、おおよそ幅が二〜三m、深さが〇・九〜一・二mほどである。基本的な層序は四層に大別でき、最上層は埋立の土で、三層（上・中・下層）が堆積土となる。木簡は三層のいずれからも出土しているが、中・下層からの出土量が多い。ただし、木簡の年紀に層位毎の違いは顕著には見られない。SD四六九九には、西から左京三条二坊八坪の北を限る築地の南北側溝と七・八坪の坪境小路両側溝が注ぎ込む。このうち、築地北側溝（二条大路南側溝）は四時期に区分できるが、最終期にはSD四六九九の埋土の上を東に流れてゆく。また、坪境小路の側溝も上・下二層のうち、上層の溝がやはりSD四六九九埋土をこえて東側溝へ流入したと考えられる。SD四六九九の出土遺物にも奈良時代末期のものが含まれていな

いことから、同溝は奈良時代後期ころに埋め立てられたものと判断される。一方、SD五〇二一については、SD四六九九とは違い、奈良時代を通じて機能していたとみられる。本号には、西側溝のうち、『木簡概報』（二十）に既報告の第一七八次を除いた分について収録した。

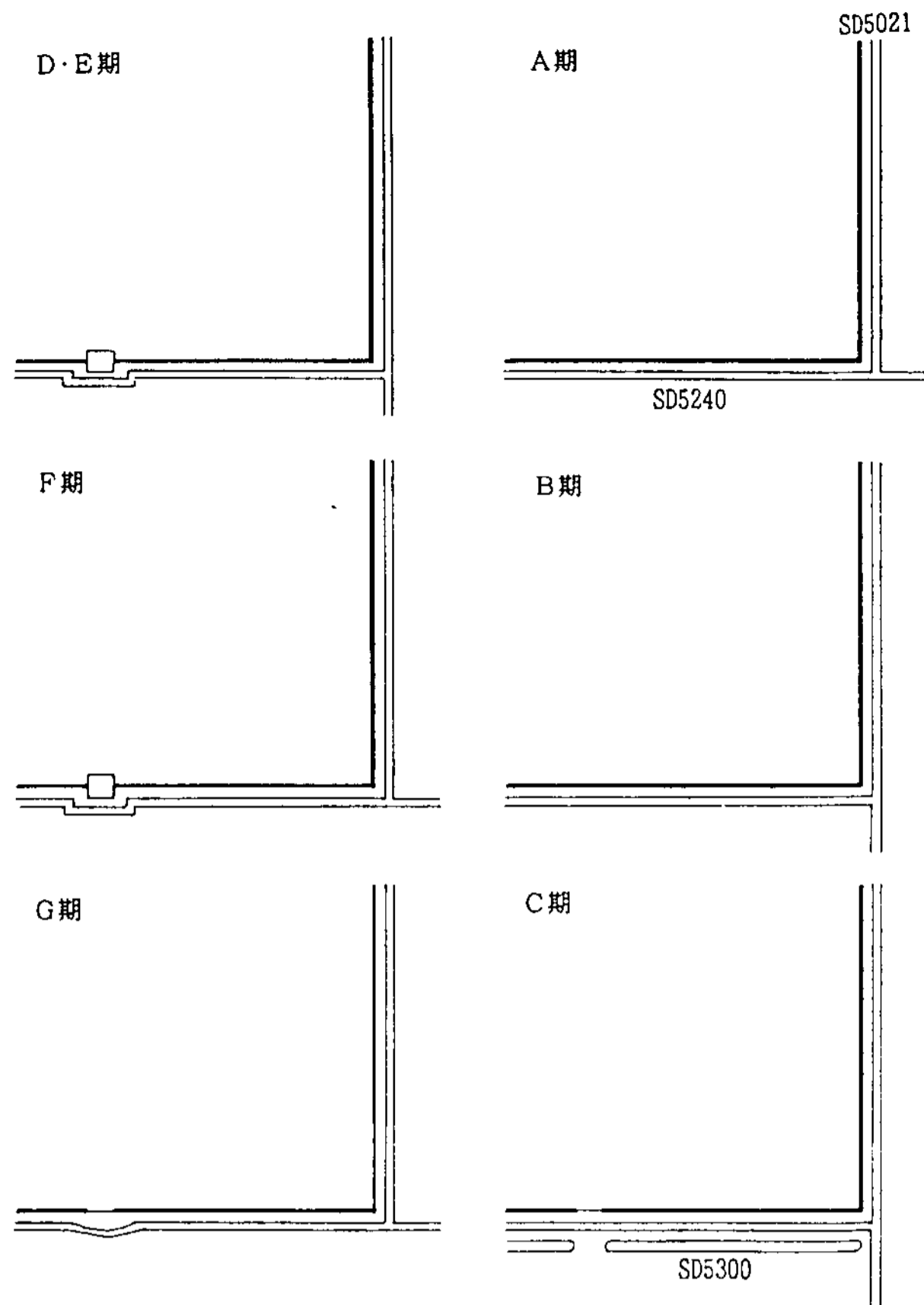
SD五二四〇

左京三条二坊五坪の南端を西から東に流れる溝で、二条大路の北側溝にあたる。奈良時代を通じて機能しているが、三回の掘削が行われてい。古い順に北側溝3、2、1と呼ぶが、溝の心が順に数十cmずつ北へ移動している。溝の深さは三条とも大きな違いはなく、遺構面から約〇・四〜〇・八mほどである。溝幅はもっとも新しい北側溝1が約二・五mを測るほかは、現状では溝の肩を確認できない。木簡は三九点であるが、北側溝3から四点、同2から五点のほかはい

ずれも北側溝1からの出土である。本号掲載の四点のうちはじめの二点は北側溝3から、三点目は同2から、四点目は同1に対応する五坪南門前をカギの手に流れる部分から出土した。

左京二条二坊五坪の時期変遷はA～Gの七期に区分され、北側溝SD五二四〇が西側溝SD五〇二一と合流する地点は図のように変化することが判明した。ただし、こうした変化と二条の溝の層位とがどのように対応するのかは、なお十分な検討を要する。

木簡の積読にあたっては、「長屋王家木簡検討会」（堀池春峰、岩本次郎、鬼頭清明、東野治之、綾村宏、館野和己、橋本義則、寺崎保広、森公章、渡邊晃宏）の成果を取り入れた。



二、凡 例

(一) 木簡は内容分類によって、文書、付札、その他の順に配列するのを原則とした。

(二) 積文の漢字はおおむね現行常用字体に改めたが、「實」「證」「龍」「廣」「盡」「應」「條」等については正字体を使用した。

(三) 積文に加えた符号はつぎの通りである。

ㄣㄣ 抹消した文字の字画のあきらかな場合に限り原字の左傍に付した。

■ ■ ■ 抹消により判読困難なもの。

□ □ □ 欠損文字のうち字数の確認できるもの。

□ □ □ 欠損文字のうち字数が推定できるもの。

□ □ □ 欠損文字のうち字数が数えられないもの。

□ □ □ 記載内容からみて上または下に一字以上の文字を推定したもの。

┌ ┐ 異筆、追筆。

┌ ┐ 合点。

・ 木簡の表裏に文字のある場合、その区別を示す。

カ 編者が加えた注で疑問の残るもの。

マ 文字に疑問はないが意味の通じ難いもの。

〔 〕 校訂に関する注のうち、本文に置き換わるべき文字を含むもの。

() 右以外の校訂注および説明注。

○ 木簡の上端もしくは下端に孔がうがたれていることを示す

(四) 積文下の上段のアラビア数字は、木簡の長さ・幅・厚さを示す(単位はミリメートル)。欠損・二次的整形の場合、現存部分の法量を括弧つきで示した。なお長さ・幅は木簡の字の方向による。

(五) 積文下の中段に現在の遺存の形態を示す型式番号を記した。型式番号は次の通りで、四桁の数字を用いているが、本概報では時代を示す千の位を省き、下三桁の数字で表わした。なお端とは、木簡を木目方向においた時の上下両端をいう。

6011型式 長方形の材のもの。

6015型式 長方形の材の側面に穴を穿ったもの。

6019型式 一端が方頭で、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は6011・6032・6051型式のいずれかと推定される。

6021型式 小型矩形のもの。

6022型式 小型矩形の材の一端を圭頭にしたもの。

6031型式 長方形の材の両端の左右に切り込みをいれたもの。方頭・圭頭など種々の作り方がある。

6032型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれたもの。

6033型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれ、他端を尖らせたもの。

6039型式 長方形の材の一端の左右に切り込みがあるが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は6031・6032・6033型式のいずれかと推定される。

6051型式 長方形の材の一端を尖らせたもの。

6059型式 長方形の材の一端を尖らせているが、他端は折損・腐蝕な

どによって原形の失われたもの。原形は6033・6051型式のいずれかと推定される。

6061型式 用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。

6065型式 用途未詳の木製品に墨書のあるもの。

6081型式 折損・割截・腐蝕その他によって原形の判明しないもの。

6091型式 削屑。

(六) 積文下の下段に出土地点を示す小地区名(アルファベット・数字)を記した。

(七) 積文の出土地点の下に付した「*」印は、口絵図版に写真を掲げた木簡を示す。例えば、「*」は「図版四」に対応する。

三、 積 文

南北溝SD四七五〇

・ 謹解 画部簀秦五十君 右依御召来画

・ 謹解 平群廣成

□□

248・(19)・5 081 TG11 *1

・ □麻呂 長屋皇宮侍 急□

・ 九月十九日付

(176)・26・2 081 TD11

・ 御命宣 筥六張急々取遣仕丁

・ 二人 三月五日 巳時四点 廣足

291・36・4 011 FJ11

・ 大命宣□
□□□□

(67)・(21)・1 081 TB11

・ 長屋王子宮□ [符カ]

・ 靈□□ [龜]

(116)・(24)・2 081 TG11 *4

・ □ 楮五十荷 葛取持丁 桁作廿丁

(269)・(20)・6 081 TC11

・ □請今状以謹解

・ □丁

(158)・62・4 019 TB11

・ □司解申御廩料事右

・ □

(136)・(15)・4 081 TB11

・ 御酒□所充仕丁 [醸カ]

蘇我部道 朝倉小常石
椋部皆 私部小毛人 右四人

・ 「大厩米三石麴一石水□石 次厩米二石麴一石水二石二斗 次厩米一石麴八斗□厩米□石
麴一石水□石二斗 次厩二石麴八斗水二石一斗 少厩米一石麴四斗水一石五升」

405・42・2 011

・〇□日滓大御滓一乳戸進出
 ・〇□□七月十三日 扶
 240・(24)・3 011 TC11

・賣斐解 道路行種々味
 ・物隠等交易料錢五十文請
 □□
 202・29・2 011 TD11

・□子二坐月々省給常食数〇
 □□未時從 □
 [日カ]
 器□納印進出□□
 〇
 (164)・(19)・2 081 TB11

・又匏甘口右二種進出
 ・八月十七日巳時□□
 家扶□□
 168・24・6 011 TF11

山背御菌司
 379・19・6 011 TF11
 ・符 山辺大人 □
 ・進上 今日大急 付
 (165)・(16)・4 081 TD11

・渋川御田侍奴末麻呂食□
 ・左□本
 (99)・13・3 019 TG11 *4

・木上御馬司□
 ・請申 一日分一升 卅日 □
 (83)・35・3 019 TC11

・〇進出物 椽一斛 茶一荷 鯛鮓一瓮
 ・〇右三種 五月一日白鳥鎌足 少書吏
 222・25・3 011 TC11 *1

・交易進 瓮七口 油坏百卅三口
 奈閉八口
 ・右五十八物直錢十文 直丁末呂
 (三) 稻積者腹急□在
 料□出□得□放
 [カカ]
 204・34・3 011 TC11 *1

・〇進上□柑□廿四俵上□□
 ・〇潤月十五日火三田次 〇
 286・25・6 011 TE11

[御田カ]
 ・□□進上御食米三斗 丁把女
 ・十一月十四日□□百嶋 [葉カ]
 (186)・32・2 019 TD11

[炭十カ]
 □□四籠九月十二日 鴨伊布加 〇
 278・27・4 011 TD11
 進上炭十四籠□
 (182)・(38)・4 081 TB11

・進上符上物 丹「機」疊五枚 席廿枚 丹坏

・二月廿五日 右符少書吏 〇 215・39・2 011 TC11

・「籠」 閏月廿六日「鴨」鴨伊布賀

・无无位位初位初位 初位非風千字千字 (222)・(17)・3 011 TB11

・進上「桃力」 持人 〇 〇 〇 良女

・「月廿七日」 道守真人 〇 (128)・26・3 019 TB11

・「八両」 醬鯛「大」一隻 直 〇 鹿准此

・直一文不 (136)・22・2 081 TD11

□五斗八升 塩式斗参升漆合捌夕

□□人 逃亡七人 〇 〇 〇 人 240・(33)・5 011 TD11

「右先日仰」編力「張」 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

□□三文□□ 222・28・3 011 TB11

□ 草奈須美二束

□□□□□□ 「秦廣嶋力」 (158)・(13)・3 081 TB11

「一斗力」 別日一升半 塩一升二合 別日一合

五月十六日□□ (257)・(15)・5 081 TB11

・丹波柚帳内

・「□上」 (76)・(15)・1 081 TE11

・伊勢税司 進交易海藻十□斤 御海藻三百村□

・□錢五十三文遺布六常 和銅七年□月十二日□□連大田 [四力] [五力] (277)・25・6 019 TD11

□□

・税司少初位上伊我臣廣庭 寺史

・税司少初位上牛鹿首大麻呂 大宅

・黄文連古麻呂 物部□□嶋

・秦連真弓 日置造浜□

□□ 190・42・5 011 TG11

領嶋史大國 一日米二升 應給米六斗 塩三升 和銅六年五月一日 大國 〇

448・70・7 011 TD11

〔御所カ〕

・□□進米二升□□□□

・七月八日□□

〔末呂カ〕

(216)・(5)・3 081 TC11

□文額田部王給

(84)・(26)・3 081 TE11

膳若翁進飯五升受国□

(170)・27・3 081

・進内米二斗 受木真人

○

・廿三日山末呂 書吏

○

285・(23)・4 011 TE11

・小治田若翁□

〔進カ〕

・七月卅日甥□

(75)・(15)・2 081 TC11

・□又進十

□□

大書吏少□

吉備王子進鯖六十

皆末呂少□

大書吏 人給下□

・家令

(301)・(19)・6 081 TG11

・□□田□□進飯三升

〔佐為カ〕

受桜井□□万呂

○

・卅日□□

□□

○

196・18・2 011 TD11

・竹野王子女医二口

・一升半受真木女

(107)・15・4 019 TE11

・忍海部若翁 乳母二人 女豎十□

(157)・25・2 081 TF11

・米六升半 受家虫

十一月十一日□

〔坂カ〕

・□合部王帳内五口米二升半受子末呂

・六月五日 綱末呂

(252)・(20)・2 081 TB11

・□十一月十二日 稻虫

(152)・21・2 019 TC11

○粟田王子進米一升□□

191・11・1 011 TE11

○博士一口米一升 受創□

164・(16)・3 051 TC11

・圓形皇子

・□□

(60)・(8)・3 081 TE11

・木赤末呂米一升十一月十五日 甥万呂 書吏

○

・〔申屋事〕

○

202・22・3 011 TB11

小子十口 105・(25)・3 011 TB11

上野君菟万呂米一升 受即 十二月廿三日□ (160)・20・2 019 TB11

桑内毛理 十月四日石角 少書吏。 174・22・7 011 TB11

・丈部万呂米半升受□ (176)・24・3 051 TB11

・廿七日 石角

・政人三口米二升二合□□沓敷藁刺帳内二口。

・米一升 受万呂 □□古末呂 ○(95+10)・31・9 011 TD11

・炭焼処打蒔分米一升受 ○

・壬生安万呂書吏人給米一升受赤人 □月十二日 石角 ○ 141・27・1 011 TH11 *3

・○都祁遣雇人二口五升帳内一口一升受

・○智□九月廿六日 石角 書吏 [善カ] 148・21・2 011 TJ11

・○下総役人十三人米六升半受倭文龍

・○麦粉米一升半受上々女 十二月十七日 石角 家令 290・26・3 011 TF11

文牛甘 家原赤末呂 物集国嶋 志紀黒末呂
・秦兄上 縣船末呂 大石君末呂 尾張持末呂 ○
・秦弟上 土師梶取 鳥部末呂 坂田大宅
・少子十二人米六升 受瘡男 八月十七日 田主 ○ 224・38・2 011 TD11 *2

・小子 立万呂 牛甘 梶取 牧夫首万呂 兄上 乙万呂 子老 ○
・白手 阿倍朝臣 望万呂 田人 国嶋 弟上 縣万呂 諸上 ○
・右十六口米一斗六升 十一月廿八日 ○ 224・18・2 011 TE11

○仕丁二口米二升 十一月七日廣嶋 154・(15)・3 081 TF11

・□口米一升雇人一口一升右二升受 ○
・十月十二日 廣嶋 ○ (173)・21・2 019 TF11

□内食給 菜司 日下部忍足 (160)・(21)・1 081 TC11

[綿カ]
・□作所帳内米四升半 [酒人カ]
・十一月廿日 □□万呂 家令 159・(23)・2 081 TC11

・膳司荷持一口米七合五夕

・受比奈万呂 十一月廿二日廣嶋

155・(19)・3 081 TB11

○医米二升 受

(120)・33・2 011 TB11

・鶴司少子 虫万呂 国嶋 右三人飯六升 受

・得万呂 十月廿五日老

216・29・2 011 TC11

・工司 大□石□□人 五月一日

151・29・2 011 TB11

・鶴二米一升 受子羊

・十月卅日万呂

125・26・3 011 TC11

・○□□司 高椅朝臣 石木連 □嶋 人□ 右十一人飯十二

・○升 受□□女 十一月十二日 「老」 262・23・6 011 TD11

馬司帳内

(70)・(18)・2 081 TB11

□□□一斗五升 「四カ」 「合カ」

(119)・(12)・1 081 TE11

・馬司 上野二□ 右六□米六少 受

「馬馬□馬馬 □右京□馬」 (重ね書き)

・障子作画師一人米二升

・障子作画師一口帳内一口米□□ 「半升カ」

193・19・3 011 TJ11

・十一月六日 君万呂 書吏

「河河人□租人租 租御□租□租長」 (重ね書き) 205・30・3 011 TB11

・鎔取□□一地天天而為 「少子カ」

「□□地」 (重ね書き)

・給廝馬手米四升 受木末呂

・廿日 書吏 176・21・2 011 TG11

□□□□給被

(173)・26・4 081 TB11

御鞍所□	80・(20)・2 081 TD11	・仏造帳内一人米一升廩一人米二 ○	
・○屏風持雇人		・升受仕丁粳麻呂八月十日 □万呂 書吏 ○	215・28・4 011 TH11 *2
・○俵運雇人四口米	(105)・20・3 019 TF11	・薬師処	
・薪取三人		□	(55)・(14)・1 081 TG11
□	(88)・26・2 019 TB11	・仏聖僧四升	
・鍛師三人漆漆部漆部		・右米□□	(57)・(9)・2 081 TB11
・成成成□吉吉備	(146)・(18)・3 081 TF11	・隼人二人	
・○牛乳煎人一口米七合五夕受稻万呂		□□	(48)・17・2 081 TE11
・○十月四日大嶋	157・18・2 011 FI11 *3	・新羅人一口一升受持万呂 ○	
・書写人二口		・七月卅日甥万呂 ○	(182)・18・3 019 TH11 *3
・十一月九日	115・21・4 011 TH11	・旦風来人米一升 ○	
・経師二人 □	(132)・(12)・10 081 TB11	□□ ○	(80)・(16)・2 081 TB11
□□画師安倍□	(97)・27・3 081 TG11	〔升カ〕	
仏造司	(115)・15・2 019 TH11	・○柱立所祭米半□	(114)・15・2 019 TH11 *4
		・○八月九日嶋	
		○大御洗藁二尺束受縄女 ○	147・22・1 011 TH11

刀自女 (画指) 80・13・3 011 TF11

[蛤] □蠣腊五籠 (158)・29・3 039 TG11

益女 辛 (画指) 95・17・3 011 TB11

葛下郡司進□□ (273)・(24)・8 019 TD11

四月十八日 出拳銭 (129)・24・2 019 TF11

□国相楽郡大狛里人道守臣末呂一両 (190)・(10)・4 081 TH11

・銭一貫

塔志洗 86・21・3 051 TG11

・畝火連大山 右二人檢校 100・25・6 015 TF11 *3
・檜前主寸安麻呂

浅井郡川道里大友史□□庸米六斗 (縣戸カ) 161・21・3 051 TD11

□鹿□□頸穴 上蘇穴 下蘇穴 骨穴 屋方骨 (228)・21・4 019 TG11
骨覆位穴

・水尾里水尾臣子首 156・21・3 051 TG11

・艘五十編 大

・□万呂俵石 (三ノ) 156・21・3 051 TG11

・「毘咩」 176・31・5 031 TC11

建代三百十口 太 0 145・30・2 032 TD11

・足庭郡足□ 一石北宮 (74)・19・3 039 TF11

猪足一皮一枚 160・16・6 032 TF11

鮑百連 □□百□

・越[後カ]年魚□□ 227・34・4 032 TE11
・数九千九百八十九隻

韓薦十枚 鮑二百連 (98)・25・4 081 TF11

・北宮交易美囊郡吉川里

・□一俵
〔榊カ〕

140・20・5 032

〔宮カ〕
多比 多土郡九烈七隻□

111・18・3 032 TD11 *3

周防国大嶋郡□

(223)・29・6 039 TH11

宗形郡大領鯛醬

103・28・3 032 TG11 *3

周防国大嶋郡屋代里□

(134)・27・4 039 TF11

〔鮫カ〕

久米郡□五十□□

181・13・5 031 TB11

・名草郡大屋里

〔韃幸管管管
脚脚〕

(重ね書き)

□郡下入里文首魚万呂戸俵六斗

(117)・13・3 059 TB11

・〔充天地玄黄宙

〕 飛 外 外 外

鳥 飛 外 外 外 (重ね書き)

107・25・3 011 TF11

椅爪里白米一石

106・14・3 032 TG11

少閉里

(104)・(15)・3 033 TC11

□郡和社里黒米三斗

(111)・21・3 019 TB11

・北宮□□

・阿知贄五斗

163・27・3 031 T111

□里狛人部尼麻呂御調塩三斗

(153)・30・5 039 TD11

北宮御塩綾郡矢田部法志三斗

136・17・4 031 TG11 *4

北宮御物俵余戸里五保

217・27・4 033 T111

・長屋皇子宮御□

・多土郡□伊西部□三□

111・18・3 031 TD11

・余戸里俵一石漢人小祢
・北宮□物七月廿三日
〔之カ〕

189・23・3 033 T111

□多土郡
上□□

(67)・21・2 019 TC11

□□
 □□
 智珍努若翁帳 珍若翁□右件人申仕奉人部加些 春日臣□足
 □田□翁 帳内解 事 放婢 占部連部 我田羅衣御服事 佧伍佧智智努若王
 □□若翁□□ □□ □□
 [若力]

和銅六年六月十二日 和銅六年□月□□ □
 □□為疊
 □□和銅六年六月 有今人□吐烟煙□□□□眸□ □
 [徵力] [裙婉媚力]
 鏡梅並梅梅益密蜜□□姿 和銅六年□□

(792)・41・7 081 TC11

□月□日進三斗
 □月□日進三斗
 □進米□
 □馬黑麻呂
 □日進米三
 安万呂 七斗
 □万呂 石角
 □日進五斗
 忍海安万呂
 □升半 曾女 黑万呂
 □十三日進二
 □十四日進三
 身豆女 志□
 □十五日進二斗
 □十六日進三斗
 □十七日進三
 忍海安万呂
 □十八日進三
 十九日進三
 黑麻呂 □
 □廿日進六斛
 四斗曾女□
 麻呂
 □廿三日進三斗
 綱万呂書吏
 □廿四日進三斗□
 □廿五日進三斗□
 □廿六日進三斗
 □廿七日進三斗
 廿八日進三斗

□二升
 □依進二斗
 □十九日下一斛
 □斗
 □米一
 □飯
 □下日十二

(514)・(54)・5 011 TC11

東二坊坊間路西側溝SD四六九九

・謹牒 厨務所 □本清二升許

・右為藥分之 天平元年八月十八日 將曹若麻侶
大國 207・29・3 011 SK07 *5

・二年八月十二日主典正八位上勳十二等民忌寸「□□」

・ □ (154)・(14)・2 081 RR08

・飯二升充大縣起万呂 大隅乙万呂

・ 十月九日書吏 141・14・3 011 JC07

・山代三宅進上芹一斗久々多知

・ 天平元二年二月：□□奈万呂 (315+115)・42・8 011 UD08
(3)

漢人官万呂

・召「堅部乙万呂 今急参向莫

・ □□状如件大尉□□少尉□□ 附□上 149・(29)・5 011 SK08

・書□ □高屋赤万呂
□□部小□
□人□

・ 五月廿七日 178・50・3 051 SE08

交野阿古万呂 山部足人
□佐伯子東人 津守虫万呂 ○
□屋石川

○
□田国足 凡東人
□部足浜
小長谷廻毛 110・33・5 011 JC07

「檜前カ」

□□□麻呂 □□□□
大田部伯麻呂 長谷部黒虫

私部廣国 吉師大名 200・(25)・2 081 JC07
□□□□ □

「国」

・東鯪卅條 堅魚十節□□

・合四種物 □鯪□ 235・28・4 011 SE08

□九百卅五文 合一千八百九十文 (166)・(13)・5 081 UB08

□□□生薑二百根 171・17・5 011 UC08

「及カ」 □計会文 神龜□ (82)・(13)・3 081 SE08

給枚卅九□ 神龜六年 151・17・3 032 S107

天平元年 (200)・22・5 019 SK08

標□米二斗六升 157・21・3 051 UE08

宣海上采女 230・30・6 033 SP07 *6

□衛少初位上葛野隼人 (166)・(11)・3 081 SP08

〔撲力〕
□相人□所 飯上□
白□廿一人 (161)・27・4 051 UQ08

・大初位下白鳥史老人○
・以前進上日并 ○ (102)・(20)・4 081 UG08

・□□成 進瓜二千二百□□直□□二□文

〔万呂〕
□□□ 去年中等 (70)・11・4 081 UG08

・大瓜一千□□一文
□一千四百□□二□百十文 □ □ (260)・42・6 019 U008

□府大志笠朝臣□ (120)・(18)・2 081 UL08

・合匏若干根 所殖十家 飛鳥鳥凡
歲歲歲 成実若干 夜老伯伍拾参 凡
匏匏匏見

目々々 少録從八位上宇治部連□〔少力〕 (188)・(9)・4 081 S107

・外從七位下成牛養卷□□□□□養 養 334・(27)・8 015 SK08

添下郡佐紀郷菘 (106)・(15)・6 039 UH08

・中監物□〔從力〕 (97)・(8)・8 081 SJ08

(マ)
藻上郡 十六斤 山辺郡 卅二斤 式下郡 二百斤

・勲九等秦子老 (114)・(23)・8 015 SK08

・右二百卅八斤 203・(28)・2 081 JC07 *6

・□□臣千床一升

・嶋上郡司解申嶋嶋上郡

・見左大舍人錦部廣前 (103)・28・2 039 SD08

・人夫□事 (201)・36・7 019 SJ07

山代国□。 (112)・29・4 019 S008

若狭国遠敷郡□□ 膳一斗五升 145・25・6 011 U008

志摩国答志郡伊可郷 戸主大伴部小多祁御調赤乃利 二斤 天平三年四月廿日

〔額カ〕 郷□田里戸主三家人得万呂戸

□□乃々□ 天平二年□月廿日 (216)・22・3 039 UB08

□□□三田次御調塩三斗 〔三家人〕

□平二年九月 (197)・28・10 039 UN08

参河国播豆郡篠嶋海部供奉七月料御贄佐米六斤 275・23・5 033 UC08

越前国丹□ (68)・18・3 039 SG08

参河国播豆郡篠嶋□ (207)・(17)・4 039 JD07

伯耆国会見□ 〔郡〕 (98)・21・6 039 SC07

伊豆国田方郡有参郷桜田里□□□ 〔檜前カ〕 (210)・32・5 039 JC07

周吉郡 上部郷訓議里□□ 膳一斗五升 神亀四年 142・35・4 031 SC07

養老六年

伊豆国那賀郡射鷲郷和太里戸主矢田部刀良□□田部□ (219)・34・5 032 UB08

讃岐国三野郡勝間郷平□□枚夫庸一俵 203・14・2 051 SN08

若狭国遠敷郡青郷御贄貽貝富也并作 一堀 148・27・3 032 S107 *5

備前国上道郡少□ 鹿上野

筒 檜前□ (99)・(29)・2 081 TP08

安遠郷川辺里 秦□□ 調□□

天平二年八月 (130)・26・5 019 UM08

〔三カ〕 国葦田郡□味郷□ (104)・(15)・4 081 UD08

周防国玖珂郡比志古鱒三斗二升

(181)・23・4 039 U108

東二坊坊間路西側溝SD五〇二一

奈多里□□呂庸米六斗

(55+67)・24・3 011 SE08

・大倭国志癸上郡大神里

□□郷鍛部嶋米五斗

207・(21)・8 031 US08

・和銅八年

(軸木□)

長315・径19 061 J110 *5

夏鮑廿烈

(69)・17・2 051 UH08

泉坊進上覆盆子一古

天平十九年五月十四日桑原新万呂

167・24・3 011 JH07 *5

醬

48・18・5 032 US08

・請錢一貫

大都保一口并用□□直百文

(2)

漆一升三合直六百文

□□

合別五十文

・遺錢卅文

(117+171)・30・5 011 JK10

□易函府 府交
□遣交易
□交易 交易
□渤海使 交易

易 交易 交易

・左大臣官交□

[易力]

(82)・19・4 019 J110

・「天天天天
天天天天
天地天天地」

(絵を重ね書き)

(80)・85・7 011 SQ08

・上番従八位上御立史足国

八九七十二 五九□五

(159)・(7)・4 081 SC07

・上番従八位上御立史足国

115・16・3 011 JK10

・宿直□

・九々八十一八九七十四
・九九八十一八九七十四

(98)・(24)・5 081 SI07

(80)・(12)・7 081 JL10

・資人

□ (44)・12・6 081 JK10

二条大路北側溝SD五二四〇

丹波国多□

(62)・21・4 039 JG13

・兵衛

□ 勲九等 (58)・(27)・4 081 JN10

[阿]

・淡路国津名郡□餅郷人夫

・海部荒海調三斗 192・40・6 032 JG11

□□

・尾張石□

□ 廿一年四月卅日 (74)・(39)・5 081 JJ11

・三□計帳二

□□□□□ (84)・21・4 039 JD29

・美作国勝田郡塩湯郷庸米六斗里□

・服部足倍 (232)・32・5 039 JF07 *6

中衛府移 中務省

091 JE29

・備前国邑久郡邑久郷

・宗我部古麻呂調 (116)・16・6 039 JL10

長門国美祢郡「調綿老伯屯 天平十九年九月」 410・39・7 031 JP11

阿波国奈賀郡 (88)・(21)・4 039 JM10

[郡] 五斗

□ 大家郷人夫庸米

□ (103)・30・5 039 JQ10

木簡出土遺構一覽

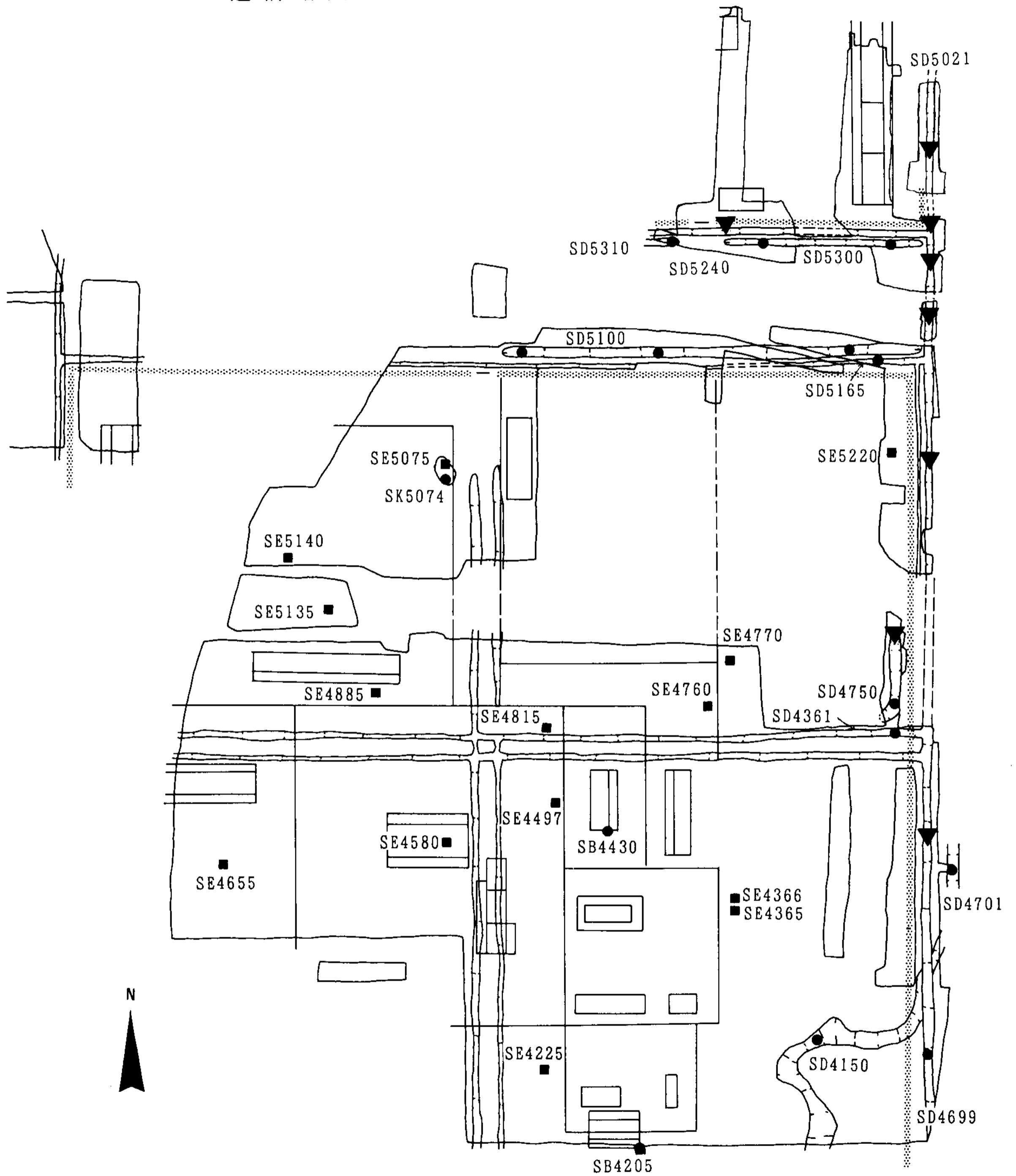
遺構番号	遺構旧番号	木簡点数	発掘回数	発掘年度	木簡概報
蛇行溝 SD4150	SD011	1点	178次	1986	20
掘立柱建物 SB4205	SB035	1点	"	"	"
井戸 SE4225	SE116	1点	"	"	"
井戸 SE4365	SE116	1点	184次	1987	"
井戸 SE4366	SE117	11点	"	"	"
掘立柱建物 SB4430	SB143	2点	"	"	"
井戸 SE4497	SE163	1点	"	"	"
井戸 SE4770	SE180	227点	184次北	"	"
井戸 SE4580	SE211	1点	184次	"	"
南北溝 SD4750	SE014	約40000点	193次E	1988	21,23
"	———	約750点	193次F	1989	23
東二坊坊間路西側溝 SD4699	SD001	109点	178次	1986	20
"	SD002	221点	193次A	1988	23
"	"	131点	193次B	"	"
"	———	34点	198次A	1989	"
"	———	16点	198次C	"	"
SD5021	———	19点	198次B	"	"
"	———	141点	202-13次	"	"
東二坊坊間路东側溝 SD4701	SD001	7点	193次A	1988	22
三条条間北小路北側溝 SD4361	SD012	3点	"	"	"
二条大路南側溝 SD5165	SD156	1点	193次B	"	"
二条大路北側溝 SD5240	———	8点	198次B	1989	23
"	———	31点	204次	1989	"
不整形土坑 SK5074	SK163	12点	197次	1988	22
井戸 SE5220	SE023	4点	193次B	"	"
井戸 SE4815	SE058	1点	186次補	"	"
井戸 SE4655	SE088	2点	186次西	"	"
井戸 SE4885	SE096	2点	190次	"	"
井戸 SE4760	SE106	2点	186次補	"	"
井戸 SE5135	SE126	1点	195次	"	"
井戸 SE5140	SE132	1点	"	"	"
井戸 SE5075	SE148	5点	197次	"	"
二条大路東西大溝 (南) SD5100	SD160	400点+α	193次B	"	一部22
"	"	400点+α	197次	"	"
"	"	850点+α	200次	"	"
"	———	40点+α	200次補	1989	"
二条大路東西大溝 (北) SD5300	———	240点+α	198次B	"	未
"	———	約14000点	204次	"	"
SD5310	———	12点+α	"	"	"

○遺構旧番号とは、これまでの概報類で使用した調査毎の仮番号をさす。

○整理途中のため木簡の点数が未確定のものが多い。厳密な数字は不明ながら総数を予想しうるものは「約 点」とし、今後の整理によって点数が増加する調査については、現在確認した点数に「+α」印を付けた。

○木簡概報の欄は『平城宮発掘調査出土木簡概報』の号数を示す。

遺構略図と木簡出土地



0 50 100m